

○広島大学附属福山中等教育学校（仮称）の教育課程について（予定）

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

6ヶ年の中等教育を通して、社会の一員としてのエージェンシー^{※1}を育成する。特に、附属福山の共有する価値観^{※2}を大切にしながら、次の2点を行う。

- ① 越境^{※3}を推進すること。すなわち各教科での学びの違い、さまざまな学年の思いもよらぬ姿、学校外（大学や地域社会）にあるホンモノに触れ、その過程で生じる困難や葛藤と向き合う経験を充実させること。

※1 附属福山での「エージェンシー」の定義

他者と協働し、責任ある行動・表現を通して、自己、社会、環境やその枠組み等を変革していく能力

※2 附属福山の共有する価値観

- ・多様性を認める
- ・共通善を求める
- ・応答責任を果たす

※3 具体的には次の3つの「越境」を行う

- I 「学校」を越境する
- II 「学年」を越境する
- III 「教科」を越境する

- ② 学校生活全般において、探究活動・表現活動に重きを置いた、多様な機会を個に応じて充実させること。

■カリキュラム・ポリシーを具体化する取り組み（例）

- ・後期課程（高校の学習をする課程）において、生徒が主体的に授業を選択する単位制を導入する。
- ・単位制をより多く取り入れるため、後期課程の内容の一部を、前期課程（中学校の学習をする課程）に前倒しする。
→多様な機会を個に応じて充実させることができる

※その他の取り組み例や、具体的な教育課程、学校行事などの諸活動については、確定次第、当校ホームページ等で公表します。

○広島大学附属福山中等教育学校（仮称）の適性検査について（予定）

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

- ・ 附属福山の価値観を共有している児童。
- ・ 小学校での学習活動を通じて、基礎的な知識や技能，思考力・判断力・表現力を身につけている児童。
- ・ 小学校内外での活動を通じて、新しい活動や学びに責任を持って向かう力を身につけている児童。

■広島大学附属福山中学校の入学者選考とのちがい

- ・ 広島大学附属福山中学校の入学者選考

- ① 個人調査書（140 点）
- ② 学力検査（国語，算数，社会・理科 あわせて 140 点）

※国語，算数，社会・理科の検査時間はそれぞれ 50 分。

このほか，出願時に志望理由書を提出

- ・ 広島大学附属福山中等教育学校（仮称）の入学者選考

- ① 個人調査書（出願時に提出）
- ② 附属福山の価値観を共有した取り組みについて

（所定の用紙に記入し，出願時に提出）

→アドミッション・ポリシーのうち，適性検査では測ることのできない，

- ・ 附属福山の価値観を共有している児童。

について測定します。

- ③ 適性検査

→アドミッション・ポリシーのうち，

- ・ 小学校での学習活動を通じて，基礎的な知識や技能，思考力・判断力・表現力を身につけている児童。

- ・ 小学校内外での活動を通じて，新しい活動や学びに責任を持って向かう力を身につけている児童。

について測定します。

適性検査Ⅰ：文章をもとに，おもに読解力や内容の広がりを通して適性を測る。

適性検査Ⅱ：資料やデータをもとに，おもに適切に表現できる適性を測る。

適性検査Ⅲ：資料やデータをもとに，おもに読み取ったうえで思考・判断できる適性を測る。

※適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの検査時間はそれぞれ 50 分の予定です。

※適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの配点については，募集時までに公表します。

※①＋②と③で同等に近い配点とします。詳細は募集時までに公表します。

※入学者選考にあたって，面接は実施しません。